



教育センター・育成センター所報

平成29年度 夏号

GALILEI



来年度からの「特別の教科 道徳」に備える教職員

CONTENTS

○巻頭言 P 1

★ふるさと柏崎に誇りと愛着を持つ児童

柏崎市立柏崎小学校長 中嶋賢一

○教育センターだより

★アクセス（教育研究班） P 2

★プロジェクト K（科学技術教育センター） P 6

★心の窓（教育相談係） P 10

○青少年育成センター通信 P 13

○所員随想「つれづれ」 P 15

★セルフマネジメント

教育センター教育相談係 相談員 服部智恵



マーチング研修

ふるさと柏崎に誇りと愛着をもつ児童

柏崎市立柏崎小学校長 中嶋 賢一



昨年度から、柏崎市立教育センターの運営委員を拝命しています。地域の児童生徒の健やかな育成に少しでもお役に立てればと考えています。

よろしくお願いいたします。

さて、柏崎小学校では、創立140周年の平成25年度から毎年、「わくわく柏小シアター」を開催しています。柏崎小学校の創立を全校で祝うとともに、日頃お世話になっている地域の皆様をおもてなしの心を持ってアルフォーレにお招きするものです。平成26年度からは6年生が企画・運営して5年生が演劇を披露し、平成28年度からは4年生も地域の皆様へのプレゼントを作っています。

演劇は、柏崎小学校に関わる素材をもとにしたオリジナルの脚本で行っています。紙芝居にもなった「青い目の人形」、職員玄関フロアにある「虎の剥製」、体育館玄関脇にある「母子像」を劇化してきました。今年度は、中庭にある「ひょうたん池」をもとに脚本がまとめられつつあります。演劇の準備をする過程で、児童は様々な皆様と出会い、学び、思いを深めていきます。それは間違いなく、柏崎小学校とふるさと柏崎に誇りと愛着をもつことにつながります。

もちろん、1年生から4年生の生活科・総合的な学習の時間に、たつぷりとふるさと柏崎のひと・もの・ことと関わってきたことが基盤となっています。1年生は、地域の「ヤギの先生」の支援を受け、2頭のヤギの飼育活動に取り組んできました。2年生は、地域の「畑の先生」の支援を受け、様々な野菜を栽培してきました。3年生は、えんま市探検やまち探検等を繰り返し、地域のよさを見付けて発信してきました。4年生は、地域を支える皆様とふれあい、地域の一員として自分ができることに取り組んできました。

そして、地域の皆様から、児童の嬉しい姿を教えてもらうことがあります。例えば、「わくわく柏小シアター」では、地域から来場されたおじいさんと手をつないで座席まで案内したそうです。また、道路で体調を崩された地域のおばあさんに声をかけ、急いで近くの家を駆け込み、救急車を頼んだそうです。さらに、道路に落ちていた空き缶を拾った児童が「家に持って帰って捨てる」と言うと、もう一人の児童が「僕の家の方が近いから僕が持って帰る」と言ったそうです。ふるさと柏崎への誇りと愛着の心が、行動にもつながってきたように思います。そして、そのような児童の行動をあたたく受け止めていただき、しっかりと学校に伝えてくださる地域の皆様に感謝しています。やはり、児童は地域の中で育てられているのだと強く感じています。

アクセス

「防災を学ぶ教育」から「防災で学ぶ教育」へ

講師：群馬大学大学院理工学府 准教授 金井 昌信 様

また、釜石市での具体的な取組や全国の先進的な防災教育の実践事例をご紹介いただき、自校の防災教育について考える上で、大変、参考になる講義内容でした。

○ 画一的な教え込みの防災教育ではなく、主体的な学び方を重視した防災教育が必要と感じました。
「気づき→実践（対策の検討）→評価」のサイクルにより、リアリティをもった活動、学習になり、
本当に災害にあったときに実際に動ける子どもたちを育てることができると思いました。

講師：筑波大学附属小学校 教官 山本 良和 様

A man in a white shirt and glasses is pointing at a chalkboard. The board is covered with mathematical diagrams, including a large central diagram with many nodes and arrows, and several smaller diagrams and equations. One equation on the right side of the board is $\frac{C}{T} = 1$.

講義では、「算数科で育てる資質・能力とは」をテーマに、言語活動の在り方、類推させることの大切さ、子どもからの問い（子どものめあて）のつくり方等、多岐にわたってお話していただきました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 参加者の感想 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

-



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 参加者の感想 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

- 

- 3 -

■ スクールオフィス情報

道徳対応の予定をお知らせします

学習指導要領の一部改正に伴う「特別の教科 道徳」への対応は、スクールオフィスにて道徳欄を追加した通知表様式、指導要録様式が提供されます。

1. 対応予定時期

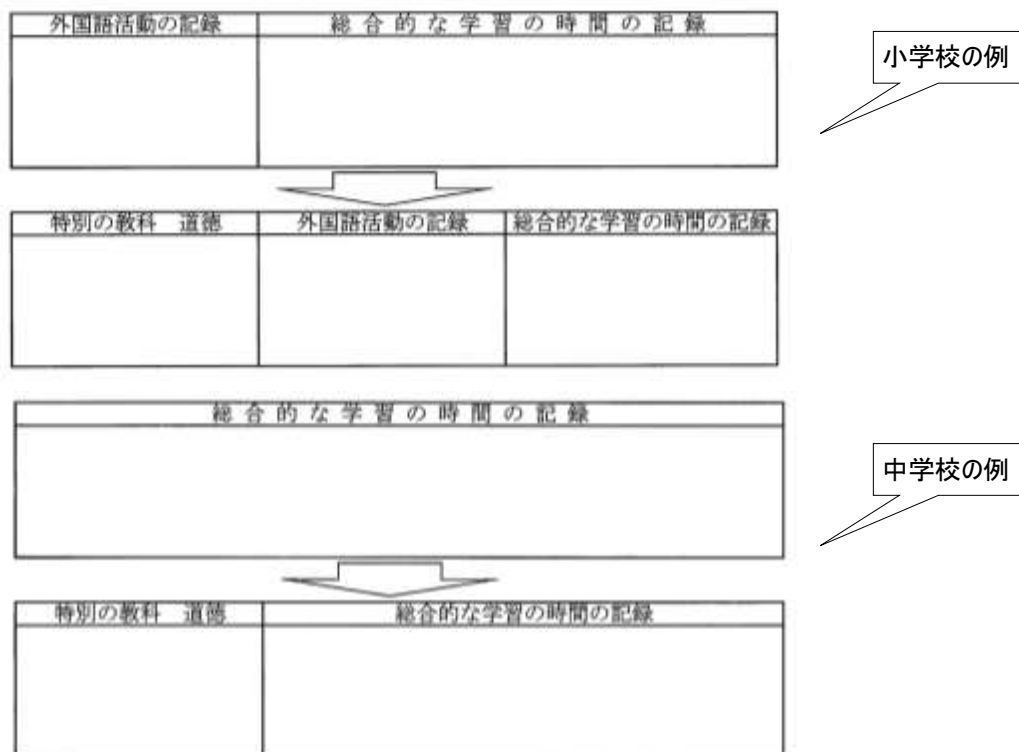
- ・小学校の対応は、平成 30 年 3 月に提供される予定です。
- ・中学校の対応は、平成 31 年 3 月に提供される予定です。（実際の利用は平成 31 年度となりますので、スクールオフィスに代わる校務支援システムが導入されている可能性もあります。）

2. 道徳欄を追加した通知表様式

- ・スクールオフィスの標準様式のみに対応になります。（追加で入れていただいた様式は対応しないとのことです。どの様式が対応するかは、以下の一覧と、「成績管理」→「通知表構成設定」の所見の設定画面で確認してください。）

学年	対応する様式	対応しない様式
1,2 年	1202, 1203	1157, 1158
3 年	1204, 1205	1159, 1160
4 年	1206, 1207, 1208, 1209	1161, 1162
5,6 年	1210, 1211	1163, 1164
中 1,2,3 年	1041, 1238	なし

- ・学年によって欄には違いがありますが、小学校低学年は「特別活動の記録」欄が、中学年以降は「総合的な学習の時間の記録」欄が狭くなり、そこに「特別の教科 道徳」欄が追加されます。



- ・これらの様式に対応した入力画面にも、道徳欄が追加されます。

3. 道徳欄を追加した指導要録様式

・文部科学省から提示された指導要録(参考様式)を参考にして、道徳欄が追加されます。参考様式はここから確認できます → http://www.mext.go.jp/b_menu/hakusho/nc/1376204.htm

小学校の参考様式

各教科の学習の記録										特別の教科 道徳	
Ⅰ 観点別学習状況										学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子
教科	観 点	学 年	1	2	3	4	5	6			
国 語	国語への関心・意欲・態度									1	
	話す・聞く能力									2	
	書く能力									3	
	読む能力									4	
社 会	言語についての知識・理解・技能									5	
	社会的事象への関心・意欲・態度									6	
	社会的な思考・判断・表現										
	観察・資料活用・技能										
算 数	社会的事象についての知識・理解										
	算数への関心・意欲・態度										
	数学的な考え方										
	数量や図形についての技能										
理 科	数量や図形についての知識・理解										
	自然事象への関心・意欲・態度										
	科学的な思考・表現										
	観察・実験の技能										
生 活	自然事象についての知識・理解										
	生活への関心・意欲・態度										
	活動や体験についての思考・表現										
	身近な環境や自分についての気付き										

中学校の参考様式

各教科の学習の記録										特別の教科 道徳	
Ⅰ 観点別学習状況										学年	学習状況及び道徳性に係る成長の様子
教科	観 点	学 年	1	2	3	教科	観 点	学 年	1	2	3
国 語	国語への関心・意欲・態度										
	話す・聞く能力										
	書く能力										
	読む能力										
社 会	言語についての知識・理解・技能										
	社会的事象への関心・意欲・態度										
	社会的な思考・判断・表現										
	観察・資料活用・技能										
算 数	社会的事象についての知識・理解										
	算数への関心・意欲・態度										
	数学的な見方や考え方										
	数学的な技能										
理 科	数量や図形などについての知識・理解										
	自然事象への関心・意欲・態度										
	科学的な思考・表現										
	観察・実験の技能										
音 楽	自然事象についての知識・理解										
	音楽への関心・意欲・態度										
	音楽表現の創意工夫										
	音楽表現の技能										

・これらの様式に対応した入力画面にも、道徳欄が追加されます。

【研修会・事業の様子】

○ 春の植物観察会 4月25日（火） 柏崎小学校校庭にて

◇講師 上越教育大学教授 五百川 裕 様

学校の周りの植物を子供たちに説明できたら楽しいと思いませんか。街なかの学校でも、観察してみるとたくさんの種類の植物がありました。実際に手に取ったり匂いをかいだりし、個々の植物の説明を聞くことで、充実した研修となりました。

○ 理科主任会 4月17日（月）・19日（水）

年度初めの多忙解消の一助になればと考え、今年度は研修をカットし、内容を精選して行いました。短い時間での説明で、不十分な点もあったかと思いますが、理科主任の先生方のお力なしには地域の理科教育振興は図れません。ご協力よろしくお願いします。

○ 中1「植物の世界」 5月2日（火）

植物は扱いやすく実験・観察もしやすい一方、授業時間内に結果が出てくったり、観察に適した植物を得にくくったりすることがあります。これを解決するための身近な植物の紹介や、効果的な指導法を研修しました。「授業にすぐ使えそう。」との感想をいただきました。

○ 環境・エネルギー教育（放射線教育） 5月10日（水）・11日（木）

柏崎原子力広報センターにて

◇講師 e-サイエンスコミュニケーション 舟生 武司 様

県の防災プログラム「原子力災害編」の内容を踏まえた研修を行いました。今回は霧箱の準備から観察までを参加者自身が体験しました。また、測定器を使って放射線の特性を体感した上で、災害時の身の守り方を学びました。

○ ワンポイント研修「薬品の扱い方と調整の仕方」 5月12日（金）

小中学校で使用する薬品は基本さえ押さえておけば、それほど怖いものではありません。実際に薬品を調整しながら、薬品の特性や希釈する際のポイントを学びました。今年度初の45分研修でしたが、内容に対してやはり時間が足りなく、今後の課題となりました。

○ プラネタリウムで授業を！（小4）① 5月30日（火）博物館にて

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

プラネタリウムを活用しながら夏の星座の学習ができるように、シナリオをもとにした模擬授業を行いました。これをもとに、今年度も市内16校の小学校が博物館で授業を行います。擬似体験ではありますが、実感を持った学習になることと思います。

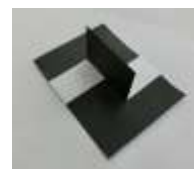
○ 小6「植物の養分と水」 6月1日（木）

学習に適した植物の紹介や、たたき染めやアルコール脱色法の実習、顕微鏡による気孔の観察などを行いました。また校庭などに生えている身近な野草を実際に採集して実験しました。研修に参加することで予備実験を兼ねられます。時間の有効活用として、参加するのはいかがでしょうか。



○ ワンポイント研修「簡単な科学工作」 6月6日（火）

小学校の科学クラブや、ちょっとした「すきま時間」などに使える科学的な工作をいくつか紹介しました。時間の都合で5種類しか紹介できませんでしたが、他にもたくさん紹介したい工作があります。いつでもお問い合わせください。



○ プラネタリウム操作技能習得講座① 6月7日（水）

◇講師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

教師自身がプラネタリウムを操作しながら授業を進めていくことを目指し、研修を行いました。

コンソールには多くのボタンやダイヤルがあり複雑そうですが、必要最低限のものだけ使用しながら行えば、初心者でも実践可能です。まずは挑戦してみませんか？ 児童から「すごい！」と言われること間違いなし！

1枚の紙からどうやって作る？



○ 小5「流れる水のはたらき～鵜川巡検～」6月28日（水）

市内を流れる鵜川の上・中流の観察に適した地点を訪れました。駐車場や安全に観察できるポイントなどを確認しました。

後半は石が流水によって丸くなることを再現する実習を行いました。実際に石の角が取れ、泥ができることを実感できたようです。



○ ワンポイント研修「実験の基礎技能」 7月12日（水）

安全に実験・観察を行うために押さえておくべきポイントを伝えました。実際に水の加熱や冷却の実習を行い、留意点を確認することができました。「現場ですぐ生かせる実習だったので良かった。」という感想をいただきました。



○ 科学研究応援プロジェクト

「初夏の植物観察会」 6月10日（土）	「海のいきもの観察会」 6月18日（日）	「昆虫観察会」 7月8日（土）
◇講師 阿部 文夫 様 藤林 壽一 様 (共に柏崎動植物研究グループ)	◇講師 近藤 亜矢子 様(柏崎小学校) 佐藤 俊男 学芸員(博物館)	◇講師 廣田 万博 様(半田小学校)
青空の下、夢の森公園などを散策しながら植物の魅力を学びました。植物名の由来や、生育場所の違いなど、講師の話を真剣に聞き入る姿が見られました。 後半は標本作りの実習を行い、植物への関心を高める一助となったようです。	今年度も申し込み多数となり、抽選となりました。 穏やかな天候の中、様々な磯の生物に触れ、採集することで海の魅力を満喫したようでした。 後半は海藻標本作りにも挑戦しました。意外に簡単で、きれいにできることに驚く人もいました。	梅雨時の晴れ間の中、教育センター周辺で昆虫の観察や採集を行いました。甲虫やトンボ、チョウなど様々な昆虫との出会いがありました。 後半はトンボの標本作りにも挑戦しました。意欲的に取り組んでいました。
		

○ 青少年のための科学の祭典 柏崎刈羽大会 6月24日(土)新潟工科大学にて

今年も地域の先生方や中・高・大学生、各種団体からご協力いただきました。16ブースを展開し、2,300人の来場者を迎え盛況な大会となりました。例年参加する東中学校の生徒さんに加え、今年は新たに南中学校の生徒さんも実験ショーにブーススタッフにと活躍しました。定番ブースの他に、毎回新たなブースを用意しています。ちょっとしたネタ探しにいらしてみませんか？秋は11月23日(木・勤労感謝の日)開催予定です。



【要請授業など】

○科学研究のすすめ： 枇杷島小・刈羽小・比角小・田尻小・内郷小・荒浜小・北鯖石小
鯖石小・榎原小

○科学クラブ： 田尻小・内郷小・剣野小

○ネイチャーゲーム： 二田小・内郷小合同



今期もたくさんの要請をいただきました。都合のつく限り伺いますので、いつでも声をかけてください。
(ただし、協力員は火曜～木曜午後、または金曜のみの要請です。)

事業のご案内 8～10月

○ 科学研究相談会

◇日時 8月4日(金) 10:00～12:00
13:00～16:30

◇場所 教育センター 科学実験室

◇講師 柏崎動植物研究グループ 阿部 文夫 様 博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ 参考作品展

◇日時 8月14日(月)～19日(土) 10:00～17:00

◇場所 ソフィアセンター 2F 展示ホール (最終日は15:30まで)

○ 名前調べ会

◇日時 8月19日(土) 10:00～12:00
13:00～15:30

◇場所 ソフィアセンター 2F 展示ホール

◇講師 柏崎動植物研究グループ 相澤 陽一 様・河合 三喜雄 様・阿部 文夫 様
柏崎貝類同好会 井上 宗温 様
半田小学校 廣田 万博 様

模範となる生物標本の他、昨年度特別賞を受賞した児童生徒の作品の一部も展示します。

○ 第52回柏崎刈羽地区児童生徒科学作品展

◇日時 9月15日(金)～20日(水)

◇場所 博物館

※表彰式は9月22日(金)16:00～

○ 第52回柏崎刈羽地区児童生徒科学研究発表会

◇日時 10月2日(月)

◇場所 アルフォーレ

両大会とも、多くの出品をお待ちしております。各要項は6月下旬に各学校へ送付してありますので、ご確認ください。

なお、申し込みの際は児童生徒の名前と作品名の確認をよろしくお願いします。

研修会のご案内 8～10月

○ 谷根川上流溪流ウォーク

- ◇日 時 8月3日(木) 8:00～12:00
- ◇場 所 谷根川(集合:教育センター駐車場)
- ◇講 師 柏崎・夢の森公園 スタッフ 様



○ 地層観察会

- ◇日 時 8月7日(月) 9:00～12:00
- ◇場 所 聖ヶ鼻・米山海岸(集合:教育センター駐車場)

○ 理科教育講演会

- ◇日 時 8月10日(木) 13:30～16:30
- ◇講 師 理科教育研究フォーラム夢サイエンス 代表 松延 康 様

○ 中3「運動とエネルギー」

- ◇日 時 8月22日(火) 9:00～11:00

○ プラネタリウムで授業を！(小6)②

- ◇日 時 8月30日(水) 15:00～16:45
- ◇場 所 博物館

○ 秋の植物観察会

- ◇日 時 9月1日(金) 14:00～16:45
- ◇場 所 八石山周辺(集合:教育センター駐車場)
- ◇講 師 柏崎動植物研究グループ 阿部 文夫 様

八石山の植物の名前を覚えて、遠足などで生かしてみませんか？

○ プラネタリウムで授業を！(中3)③

- ◇日 時 9月5日(火) 15:00～16:45
- ◇場 所 博物館
- ◇講 師 博物館 佐藤俊男 学芸員

○ プラネタリウム技能習得講座②

- ◇日 時 9月7日(木) 15:00～16:45
- ◇場 所 博物館
- ◇講 師 博物館 佐藤 俊男 学芸員

○ 小4「水の3つのすがた」

- ◇日 時 9月19日(火) 15:00～16:45

○ 小中「活用事例から学ぶデジタル教科書」

- ◇日 時 9月28日(木) 15:00～16:45

○ 上越地区合同野外研修会

- ◇日 時 10月3日(火) 詳細は後日ご案内します。

○ 生活科「秋遊び」

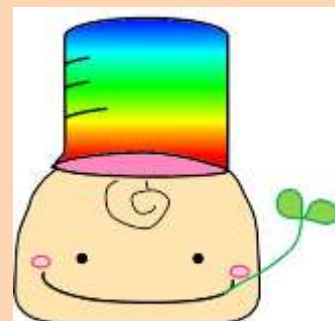
- ◇日 時 10月19日(木) 15:00～16:45

○ ワンポイント研修「葉脈標本作り」

- ◇日 時 10月20日(金) 16:00～16:45

○ 中2「天気とその変化」

- ◇日 時 10月24日(火)



詳細は研修講座一覧をご覧ください。

年度途中の申し込みも可能です。都合がつく方はどしどしご参加を！

TEL: 23-1168

E-mail: kec@kenet.ed.jp

心の窓

No.205



親支援プログラム (PSP)



“しつけ”という言葉聞いたとき、どのようなイメージを思い浮かべますか？ 人それぞれ違うと思いますが、「褒めること」を思い浮かべた方は少ないのではないのでしょうか。一般的に多くの人は、“しつけ”と聞くと、叱る・体罰などの“罰を伴うしつけ”を思い浮かべるそうです。

本来しつけとは、「最低限の礼儀やマナーを教える」「良いこととダメなことをはっきりとさせる」などの意味を持ちます。しかし、“罰を伴うしつけ”では、親が伝えた内容ではなく、不快な感覚だけ残る場合が多いそうです。そもそも我が子に怖い思いをさせたい、成長に悪い影響を与えたい、そんな親はいないはずです。なのに、ついつい怒鳴ってしまう、手が出てしまう…最近では、これらのことが虐待としてニュースになる場合もあります。

なぜ、罰を与えてしまうのでしょうか。考え方の一例として、次のことが挙げられます。

可愛い我が子でも、子どもが起こす問題は親にとって悩ましいものです。人によって問題に思う行動も悩む度合いも異なりますが、今回は“親が悩む子どもの問題行動”を「ストレス」と仮定します。人間を含むすべての生命体は、ストレスにさらされ続けると死に至ってしまいます。そのため、生命体はストレスを本能の部分で察知し、『ストレスから逃げよ！』という強烈な信号を送ります。それが「イライラ」という現象であり、本能は速やかにストレスから逃れる方法を探します。すると、ついつい一番即効性が期待でき、使いやすい方法である「怒鳴る」「叩く」という行動をとってしまうのです。「自分の子どもが他の子よりも言うことを聞かない」「理解できない」「発達が遅れているように思う」と特性で悩むことがあれば、ストレスは余計に高まるでしょう。

使いやすい方法である“罰”を与えた結果、一時的に問題は解消されますが、親子のコミュニケーションの質と量は減ってしまいます。さらに、親が子どもにしてほしいことがうまく伝わらないので、子どもの問題行動を強めてしまう悪循環に陥ります。これを解決するには、親のストレスを減らすことが必要です。そして、“罰を伴うしつけ”以外の効果的な対処方法を考える必要があります。

また、注意が必要なのは、我が子が親の体験したことのない“当たり前がわからない、できない感覚”を持っている場合もあることです。『学校コワイ』という絵本には、主人公のハルちゃんを感じる“わからない、できない怖さ”が語られています。「勉強の時間と休み時間が変わりばんこに来るって、長い間知らなかった。だって、時間割表には書いてないんだもん」「一生懸命真似しても、『違う』『へんなの』って言われちゃう。みんなから笑われたり怒られたりしちゃうんだ…すごく悲しかった」。彼女は発達障害の特性を持っていましたが、親や周囲が彼女の悩み・特性に気付くのはずっと先でした。その間、彼女は自信がなくなり、いじめられました。血が繋がっていても親と子は別の人間です。子どもが見ている世界観を知り関わることも子育てに必要なかもしれません。

さて、教育センターでは9月から『親支援プログラム (PSP)』という子育て支援講座が始まります。PSP は、保護者が子どもに対する言葉がけや行動を変えたり、保護者自身がストレス対処法を身に付けたりする、よりよい親子関係を築いていくためのプログラムです。PSP を通じて、お子さんへの関わり方や付き合い方のヒントを提供できれば幸いです。

(文責 相談員 安澤友美)

【参考文献】1) むずかしい子を育てるコモンセンス・ペアレンティング・トレーニングマニュアル：(著) 野口啓示，
2) 学校コワイ：(ぶん) よつばもこ (絵) かしだあゆみ

☆☆☆ふれあいルームより☆☆☆

ふれあいルームでは、いろいろな体験を行いながら、物や人とかかわりを深めてきました。その中で、通級生がコミュニケーション力を付けてきたり、周りの様子をしっかり見て判断したりできるようになってきました。また、物おじすることが少なくなってきました。今後も、体験活動を通して、かかわりを大切にしていきたいと思います。

遠足♪～椎谷地区・観音堂でタケノコ掘り～



5月16日には歴史息づくまち椎谷に出かけました。椎谷観音堂の高橋さんにタケノコ掘りを体験させていただき、全員が立派なタケノコを大量にゲットしました。観音堂産のタケノコはえぐみが少なく、大好評だそうです。土の中から顔を出したタケノコの先ちょを、某テレビ局のグルメ番組のようにスライスにし、特選丸大豆醤油をちょこっとたらし食べました！



椎谷の探検では陣屋跡を回りました。椎谷海岸の散策ではビーチグラスや貝殻をいっぱい拾いました。海

岸のゴミもみんなお宝で、面白かったです。お天気も良く、さわやかで気持ちのいいみんな大満足の日でした。これからも貴重な体験は続きます。

おいしくできた 笹だんご！

6月8日、高田コミュニティーセンターで笹だんご作りの体験をしました。センター周りで、柔らかくて「おいしそうなところだけ」を心を込めて厳選し摘んだ、大き目レジ袋3つ分のヨモギ（かなりの量作るなのでこのくらいいるそうである）と、北条の八石登山口近くに出かけて採った、1個作るために3枚必要な笹の葉数百枚（オンナザサという幅広の笹なのだそうです）は、講師の鴨下さん、山本さんに、事前に下処理していただき、笹だんごを作りに臨みました。

ヨモギ摘みも笹の葉集めも大変でしたが笹だんご作りのもっとも大変なところは、笹の葉でつつみ、「すげ」で縛るところでした。ゆるくて中身が出てきそうになったり、強すぎて切れてしまったりと何度もやり直しをしました。

「あんこはあまり好きじゃない。普段は食べない。」という子供たちもいましたが、自分で作った笹だんごの味は格別だったようです。



茶道体験～優雅な時間を～

6月21日、産大和室をお借りして茶道教室を行いました。講師の月橋先生から、茶菓の食べ方、お茶のたて方、お茶をふるまう相手への接し方などを教えていただきました。実際に体験してみると、いろいろな作法があることに驚きます。1時間半でしたが、ゆったりとした時間が流れました。参加した子供たちは、きちんと正座して背筋を伸ばし、作法に則ってお点前を行う姿勢に対して、先生から「とても素晴らしい」と声を掛けられました。

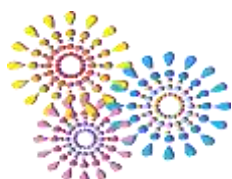


えんま市体験～柏崎の文化を再認識～

6月15日ふれあいルームのえんま市体験がありました。ポッポ焼きを食べたり、天使のカステラを食べたり。えんま市ってとってもいいですね。毎日でもいいですね。

伝統のえんま市の雰囲気をもみんなで精いっぱい堪能してきました。

(ふれあいルーム指導員 保坂尚哉)



教育相談係の予定

《カウンセリングルーム》

※いろいろ体験グループ (S S T)

◎時間

- ・16:30～17:30 小学校A・B・Cグループ
- ・18:30～20:00 中学校①・②グループ

◎予定

【8月】

A: 4日(金) B: 10日(金) C: 18日(金)
中①: 24日(木) 中②: 25日(金)

【9月】

小学校保護者会: 1日(金)・8日(金)
中学校保護者会: 14日(木)・15日(金)

【10月】

A: 6日(金) B: 13日(金) C: 20日(金)
中①: 26日(木) 中②: 27日(金)

【11月】

A: 2日(木) B: 10日(金) 小C: 17日(金)
中①: 22日(水) 中②: 24日(金)

《ふれあいルーム》

【8月】

★夏季休業中も、ふれあいルームには指導員が在中し、開設しています。

28日(月) 前期後半通級開始

【9月】

12日(火) ソフィアセンター

14日(木)・15日(金) 妙高宿泊体験

20日(水)・21日(木) 三者面談

26日(火) 博物館見学

【10月】

3日～5日(木) 学校訪問

6日(金) 前期後半通級終了

10日(火) 後期通級開始

12日(木) ソフィアセンター

25日(水) 陶芸体験①

30日(月)～31日(火) 通級生面談

【11月】

9日(木) 陶芸体験②

14日(火) ソフィアセンター

16日(木) 陶芸体験③

27日(月)～29日(水) 通級生面談

育成センター通信

0863

柏崎市青少年育成センター

〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2

Tel.0257-20-7601 FAX0257-23-4610

ikusei@city.kashiwazaki.lg.jp

青少年育成委員が決定しました

平成29年度は2年任期の育成委員改選の年です。6月1日に教育センター多目的研修室において、各地区のコミュニティー振興協議会からご推薦いただいた69名の育成委員候補に、柏崎市教育委員会が辞令を交付しました。平成29年6月1日から2年間の任期です。新規の方は29名で他の40名は継続していただきます。各地区や各学校の橋渡し役も果たしていただくことになっていきますので、ご協力をよろしくお願いします。

青少年育成委員会総会を開催しました

6月1日の辞令交付式終了後、総会を実施し、平成29年度の青少年育成委員の活動計画を決定しました。

青少年の健全育成という目標を達成するために、以下のような活動に取り組みます。



- 小中高校と連携して街頭育成活動、児童生徒の登下校時などの地区育成活動を実施し、児童生徒の安心・安全確保に努める。
- 高校生を対象とした早朝・下校育成を実施し、より多くの生徒たちとかわかることで、非行・被害の未然防止を実施し、見守り活動を継続する。

その他、第37回を迎える「中高生と大人の座談会」で、中高生を中心としたワークショップを計画しています。今年度は、中條美奈子様から「孤独を感じたとき、あなたはどのようにしますか。」という演題の講話を聴いた後、～これからの時代を生き抜くために～をテーマに語り合います。中高生と大人の年齢を超えた意見交流の場にしたいと思っています。

いよいよ平成29年度の青少年健全育成活動がスタートします。挨拶運動をはじめとして携帯スマホ等の適正な活用、公共施設等の適正な利用について、まずは大人から率先して心掛けることが柏崎の青少年を健全に育成する基本になると考えています。まさに、「大人が変われば子どもも変わる」です。

えんま市育成活動を実施しました

柏崎のビッグイベント「えんま市」で街頭育成活動を行いました。6月14日～16日

の16:00～22:00を2時間毎の時間帯に分け、育成委員が手分けをして見回りを行いました。今年度も、小中学校の新任校長先生方や高校の先生方に加え、柏崎警察署少年補導員・少年指

導委員・生活安全課・少年サポートセンター職員・スクールサポーターの皆さんとも合同で行いました。

1. パトロール活動は抑止力になって有意義であると感じた。(見せる活動)
2. お酒を飲んでいる大人が多数いるが、子どもたちにはどう映るか。
3. 歩きながらのタバコは、雑踏では危険。
4. 挨拶をしてくれる中高生もあり、好感がもてた。
5. 化粧をしている女子中高生が目立った。
6. 中高生（主に高校生）の化粧やイヤリングをつけている子が目立った。
7. 育成のベストを着ていたのので、知らない子ども達からも「こんにちは。」等と積極的な挨拶があり、日頃の声かけの成果と思って嬉しかった。
などの感想が寄せられました。ご協力ありがとうございました。



高校下校育成を実施しました

昨年度からの新しい試みとして、高校下校育成に、高校生からも参加してもらい、高校生同士声を掛け合うことで防犯意識を高め、助け合う心を育てる活動を今年度も実施します。7月7日に、柏崎高校・柏崎総合高校の生徒が参加して、第1回の下校育成を実施しました。

8～10月の予定

8月			9月			10月		
日	曜	ことから	日	曜	ことから	日	曜	ことから
4	金	夜間育成活動	4	月	下校育成活動	7	土	小学校PTA育成
6	日	中高生と大人の座談会 「夏休み中高生のワークショップ」	5	火	下校育成活動	10	火	下校育成活動
18	金	昼間育成活動	6	水	早朝育成活動	11	水	下校育成活動
26	土	中学校PTA 育成	9	土	小学校PTA育成	22	日	子ども・若者育成支援強調月間啓発活動
			22	金	夜間育成活動	27	金	夜間育成活動
			29	金	昼間育成活動	31	火	昼間育成活動



セルフマネジメント

教育相談係 相談員 服部 智恵

社会の中で、または家庭の中で、自分でない自分を求められることがあります。

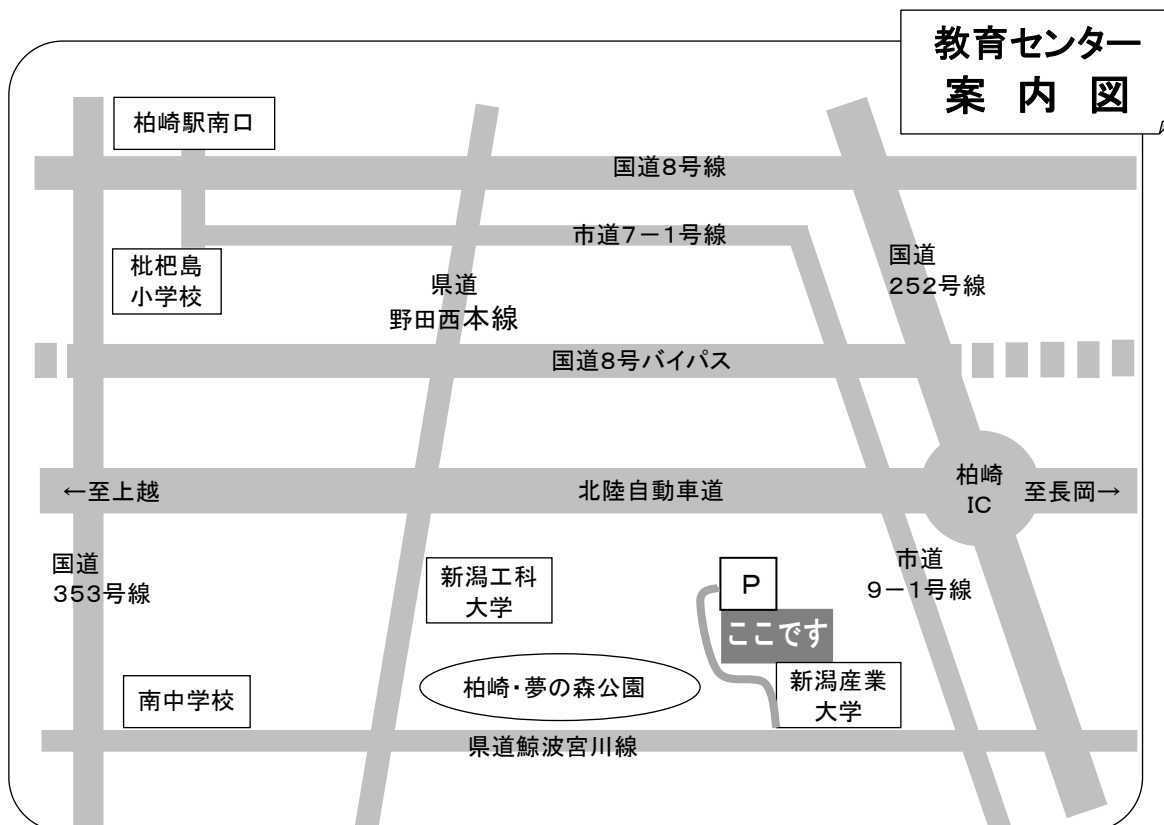
怒りたいときに怒ることができなかったり、威厳が必要だったり、元気がないのに明るく活発な振る舞いが必要だったりします。心持ちや努力だけで自分に足りない部分を補うことができないときが多々あるので、私は色の力を借りてセルフマネジメント(自己管理)をしています。

8年ほど前に、何か手っ取り早くストレスを軽減させる方法がないかと探したときに出会ったのが色彩心理学でした。色には、人の心を動かす効果があるという理論です。日本では、街灯を青い光に変えたら犯罪率が低くなったという結果や、駅のホーム端のライトを青に変えたら自殺件数が減ったという結果も報告されています。青には人を落ち着かせ、冷静にさせる効果があるようです。数年前から、気が付くと身の回りの物や服の色が青や水色に囲まれるようになりました。おそらく結婚してからです(笑)！無意識に平静を求めているのか定かではありませんし、与える印象から、できないことを求められ続けることもあります。

ストレスについて考えたり対処したりする時間や余裕がない中、「あ～今自分はこうなのかな」と少し目を向け考えるだけでもストレスは軽減されています。

ここでは青についてしか述べていませんが、他の色にもそれぞれの効果があります。色が持つ心への作用に少し力を借り、ない力があるように見せる操作を相手に少し加えて、日々、自分を励ましています。





〒945-1355 柏崎市大字軽井川4803番地2（新潟産業大学キャンパス内）

※路線バスは、柏崎駅南口から新潟産業大学行きをご利用ください。

※車でお越しの方は、キャンパス内では徐行をお願いします。

研修講座に関する
お問い合わせは
こちら

23-1168

（にいさん、いろいろっぱ）

教育センター代表TEL：0257-23-4591

代表FAX：0257-23-4610

E-mail：k-center@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育研究班・情報教育TEL：0257-23-1168

E-mail：kec@kenet.ed.jp

教育研究班（科学技術教育）TEL：0257-20-0212

E-mail：kagaku@kenet.ed.jp

教育相談班（カウンセリングルーム）TEL：0257-32-3397

E-mail：soudan@kenet.ed.jp

教育相談班（いじめ不登校電話相談）

TEL：0257-22-4115

青少年育成センターTEL：0257-20-7601

E-mail：ikusei@city.kashiwazaki.niigata.jp

教育情報支援システム URL：http://kedu.kenet.ed.jp

平成29年7月発行

=====